

製品名: TIGD1 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab18934**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:50-1:300,ELISA 1:2000-1:20000
分子量	67kDa

抗原情報

遺伝子名	TIGD1
別名	TIGD1; Tigger transposable element-derived protein 1
遺伝子 ID	200765.0
SwissProt ID	Q96MW7
免疫原	抗血清はヒト TIGD1 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 251-300

背景

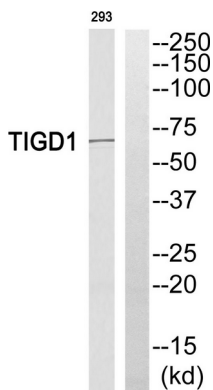
この遺伝子によってコードされるタンパク質は、ヒトの DNA 介在性トランスポゾン of pogo スーパーファミリーの tigger サブファミリーに属します。これらのタンパク質は、真菌や線虫に見られる DNA トランスポゾン、さらには Tc1 トランスポザーゼや mariner

トランスポザーゼと関連が深いです。また、哺乳類の主要セントロメアタンパク質 B とも非常に類似しています。この遺伝子の正確な機能は不明です。[RefSeq 提供、2008 年 7 月],類似性: tigger 転移因子由来タンパク質ファミリーに属します。、類似性: 1 つの DDE ドメインを含みます。、類似性: 1 つの HTH CENPB 型 DNA 結合ドメインを含みます。、類似性: 1 つの HTH psq 型 DNA 結合ドメインを含みます。、

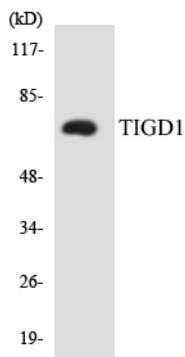
研究分野

-

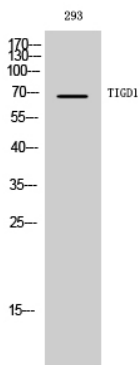
画像データ



TIGD1 抗体のウェスタンブロット解析。右レーンは TIGD1 ペプチドでブロッキングされている。



TIGD1 抗体を使用した HeLa 細胞の溶解物のウェスタンブロット分析。



TIGD1 ポリクローナル抗体 (1: 500 希釈) を用いた 293 細胞のウェスタンブロット解析。二次抗体は 1: 20000 に希釈した。